

外国語科 授業改善推進プラン

1 観点ごとの実態・学習効果測定結果の分析

	5 年	6 年
知識・技能	・月の名前や数字、季節、天候など、日常で使用する単語は理解できている。アルファベットを書く経験が少なく、大文字と小文字をかき分けることが苦手な児童がいる。	・目標値を5ポイント程度上回っている。 ・身の回りのものや、色、数字といった簡単な英単語の意味を理解しており、発音を聞き分けることができる児童が多い。
思考・判断・表現	・質問されたことに答えたり、発音を繰り返して練習したりすることが十分にできない児童が多い。	・目標値とほぼ等しい。 ・日常生活に関する対話を聞き分けることができています。
主体的に学習に取り組む態度	・英単語を使ったゲームやチャンツに取り組むことができる。	・目標値とほぼ等しい。 ・例文を参考にしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて書く活動に取り組むことができています。

2 課題と授業の改善策

		5 年	6 年
課 題	知識・技能	・アルファベットの文字や単語を覚えきれず、会話や発言につながらないこと。	・買い物や道案内の場面において、具体的な内容を聞き取り理解するのが苦手な児童が一部いること。 ・单元ごとの理解度にばらつきがあること。
	思考・判断・表現	・発言することに抵抗を感じて声に出せない児童がおり、スピーチやプレゼンテーションへの取り組みの個人差が大きいこと。	・声を出すことに抵抗を感じている児童が一定数いること。 ・英語表現を聞き取ることはできても、自らの表現に生かすことに難しさを感じている児童が多いこと。
	主体的に学習に取り組む態度	・学習に対して見通しがもてず、なにをすれば良いのか分からない児童が一部いること。	・英語への苦手意識から、活動に取り組めない児童が一部いること。 ・自信をもって、発言したり表現したりする児童が少ないこと。
授 業 の 改 善 策	知識・技能	・カードやワークシートを活用し、書く練習や読む練習を繰り返し行い、定着を図る。	・英単語の理解だけでなく、文章や会話での表現に親しむための活動をする機会をどの单元においても設け、知識の定着を図る。
	思考・判断・表現	・話型や文型を提示し、発言の仕方や内容を繰り返し練習させ、取り組ませる。	・声を出す習慣を身に付けさせるために、簡単な英単語やあいさつなど全員で声を出せる機会を多く設ける。 ・单元が進んでも、既習事項を振り返る場면을授業に取り入れるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度	・どのような力をつけるのか、どのようにすると良いのかの見通しをもって取り組めるようにする。	・班や友達同士で活動する場面を増やし、安心して英語表現に取り組める場を設けるようにする。

